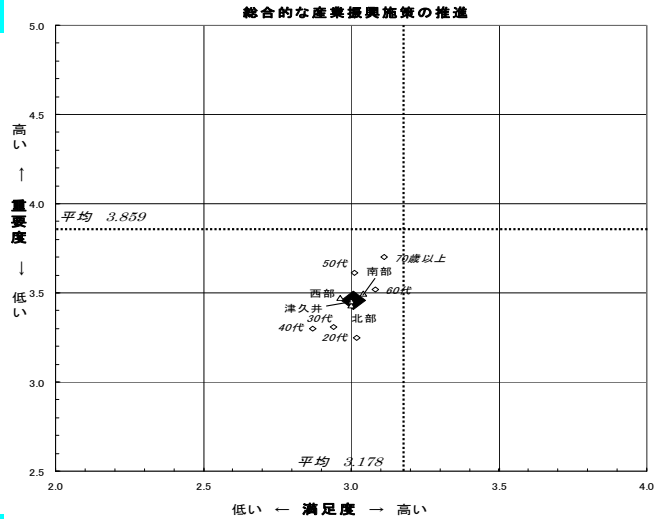


4 市民満足度調査結果(平成20年度実施分)

○この施策の満足度は3.006で121施策の中で110番目
 ○重要度は3.460で107番目である。
 ○改善要望度は-0.1611で92番目である。
 ○年齢別にみると、満足度は70歳以上で最も高く、40代で最も低くなっている。重要度は70歳以上で最も高く、20代で最も低くなっている。
 ○地区別にみると、満足度は南部で最も高く、西部で最も低くなっている。重要度は南部で最も高く、北部で最も低くなっている。



5 1次評価(2つの視点から評価を行う)

視点の種類	評価基準・着眼点	評価点	H18評価点	前回(H18)評価結果との比較分析
有効性	各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している	④ 2 1	④ 2 1	
市民満足度	市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している	4 2 ①	4 2 ①	
合計		5		評価結果に基づく区分(2項目の合計点数による) A(6点以上) B(5点・4点) C(3点以下)
				1次評価 B

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

6 課題と解決策(現状または、評価結果から)

課題	市内企業を支援している商工支援団体については、国(商工会議所と商工会の一元化)や県(商工団体費の削減)による見直しが図られているため、商工支援団体の統合と自立を促進する必要がある。
解決策	商工支援団体の会員増強や自主事業の強化を支援する。また、商工支援団体の効率的かつ効果的な運営が図られるよう、国や県の動向を踏まえながら、適切な事業補助を実施する。

7 2次評価及び意見(1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入)

客観性のある目標値設定を行う必要がある	2次評価
	B

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

8 3次評価及び意見(評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入)

	3次評価
	B

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

構成事務事業一覧

単位:千円

事務事業 担当課	構成事務事業	H19決算見込 (事業費)	H20予算 (事業費)	H21見込額 (事業費)	事業効果 の高い 指標番号	前回の 優先順位	H17人員 (人)	H17決算額 (事業費)	H17合計 (人件費含む)
産業振興課	産業振興ビジョン推進事業	201	261	261	1	1	0.03	150	392
産業振興課	情報集積促進事業					4	0.00	467	467
産業振興課	優良従業員等表彰					5	0.06	110	593
産業振興課	相模原市産業振興財団補助 金	67220	76,974	76,974	1,3	3	0.14	59,467	60,594
産業振興課	相模原商工会議所補助金 商工団体等補助金	52137	57,340	57,340	1,4	2	0.08	29,973	30,617
産業振興課	産学連携支援事業(再掲)					再掲	0.16	13,444	14,732
産業振興課	広域連携支援事業(再掲)					再掲	0.21	1,518	3,209
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
		119,558	134,575	134,575			0.68	105,129	110,603